

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 5日

岐阜県知事 殿

提出者

住 所 岐阜県本巣市浅木318番地1

氏 名 一丸ファルコス株式会社

代表取締役 安藤 芳彦

電話番号 058-320-1030

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	一丸ファルコス株式会社 真正工場
事業場の所在地	岐阜県本巣市浅木318番地1
計画期間	2023年4月1日から2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：製造業 中分類：化学工業
② 事業の規模	前年度の製造品出荷額：59億円
③ 従業員数	223名（正社員164名、他59名）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	化粧品配合用動植物抽出エキス・健康食品素材原料の製造等 活性汚泥：再生処理業者に委託して、堆肥等に再資源化 その他汚泥：中間処理業者に委託して焼却後、埋め立て処分 廃溶剤：再生処理業者に委託して、代用燃料として再資源化 有機性の酸性廃液：中間処理業者に委託して中和後、生成物の一部をセメント原料として再資源化 廃プラスチック類：中間処理業者に委託して焼却、焼却灰を熔融処理後、路盤材として再資源化 動植物残渣：再生処理業者に委託して、堆肥として再資源化

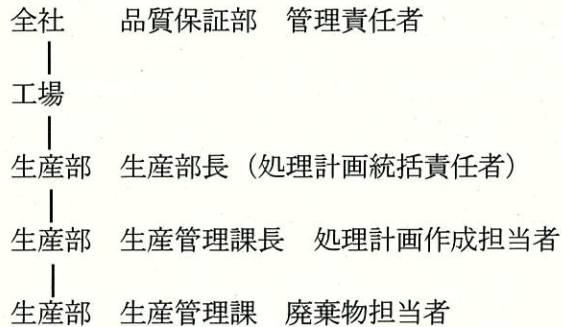
(日本工業規格 A列4番)



## (第2面)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排 出 量	380 t	705t
	(これまでに実施した取組) ・可能な限り再生利用業者、優良認定処理業者へ処理委託する ・廃棄物発生抑制を目的とした生産方法の検討をする。 ・余剰汚泥発生抑制の検討 ・廃油の有価引き取り		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排 出 量	240 t	345 t
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り再生利用業者、優良認定処理業者へ処理委託する ・廃棄物発生抑制を目的とした生産方法の検討をする。 ・余剰汚泥発生抑制の検討 ・汚泥のうち90tは、昨年処理場修繕のため除外		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・21種類に大別、類ごとにさらに品名を再分化し、保管している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・社員教育の実施

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		



## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙1の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	— t	— t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		

## (第5面)

② 計画	【目標】(令和5年度)別紙2の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	— t	— t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状			【前年度（令和4年度）2022年度 実績】 合計：1350 t				
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	有機性の酸性廃液	廃プラスチック	動植物残渣	廃アルカリ
	全処理委託量	380 t	705 t	176 t	22 t	65 t	2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	119 t	630 t	0 t	1 t	0 t	2 t
	再生利用業者への処理委託量	178 t	701 t	0 t	0 t	65 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる ・優良認定処理業者への処理委託の実施						

②計画		【(令和5年)2023年度 目標】合計：940 t					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	有機性の 酸性廃液	廃プラスチック	動植物残渣	廃アルカリ
	全処理委託量	240t	345 t	176 t	22 t	65 t	2 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	119t	310 t	0 t	1 t	0 t	2 t
	再生利用業者へ の 処 理 委 託 量	128t	345 t	0 t	0 t	65 t	0 t
	認定熱回収業者へ 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う 業者への処理委託 量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		(今後実施する予定の取組) ・販売予測や製品別販売量を過去分析し、発生量を予測していく。 ・廃棄物削減を目的とした生産方法の検討、処理方法の検討をする。 ・優良認定処理業者又は ISO14001 認証取得業者への処理委託を推進する。 ・余剰汚泥発生抑制の検討					

